

第1回 県立高等学校改革懇談会 『田島・南会津』

日時：令和元年 6月 5日（水） 13：30～15：00
場所：田島高等学校 会議室

福島県教育委員会

本日の進め方

1

県立高等学校改革前期実施計画策定の経緯

2

田島高校・南会津高校の現在の状況

3

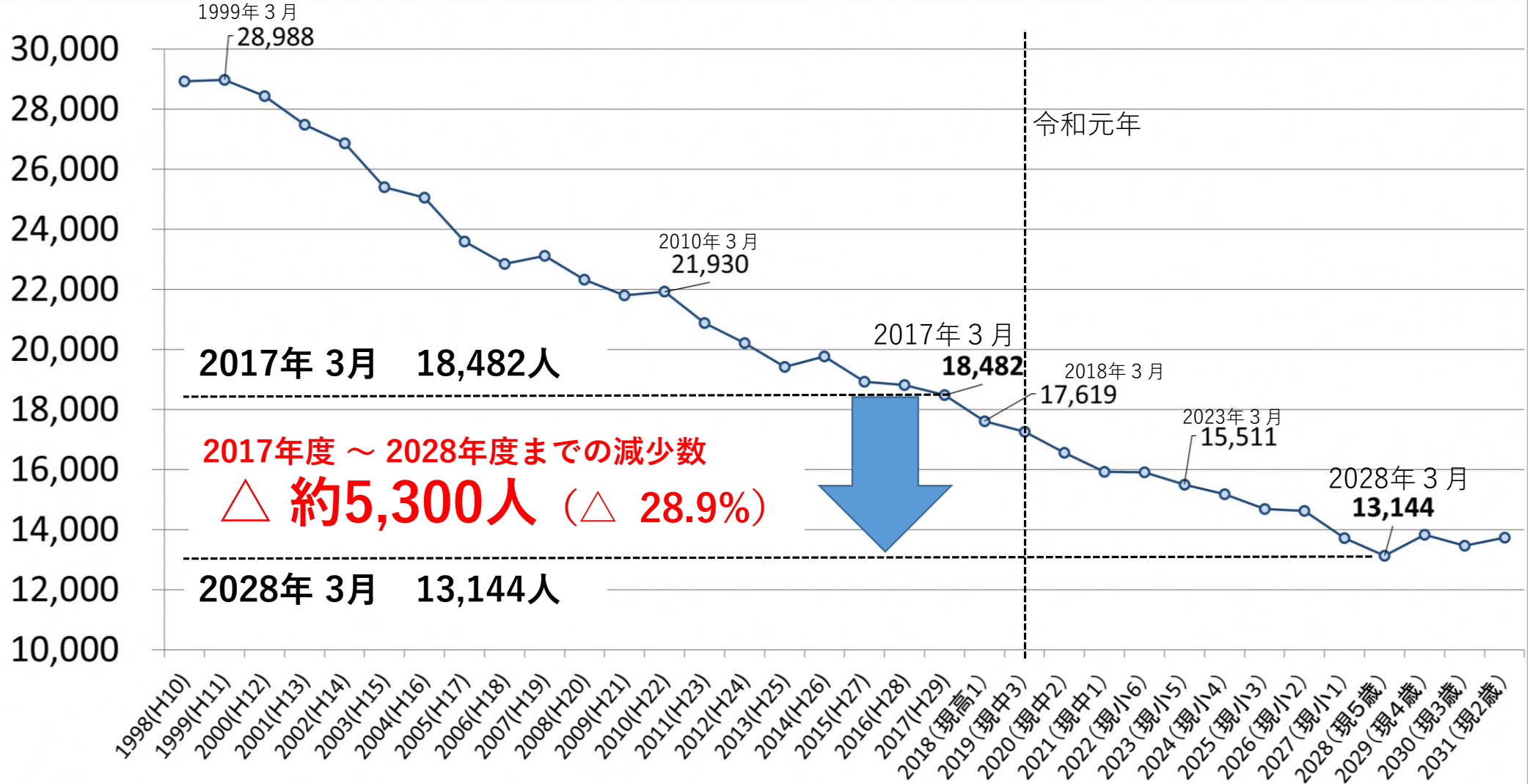
今後の再編整備について

1

県立高等学校改革前期実施計画策定の経緯

少子化の進行（中学校卒業見込者数の減少）

中学校卒業（見込）者数の推移（人）

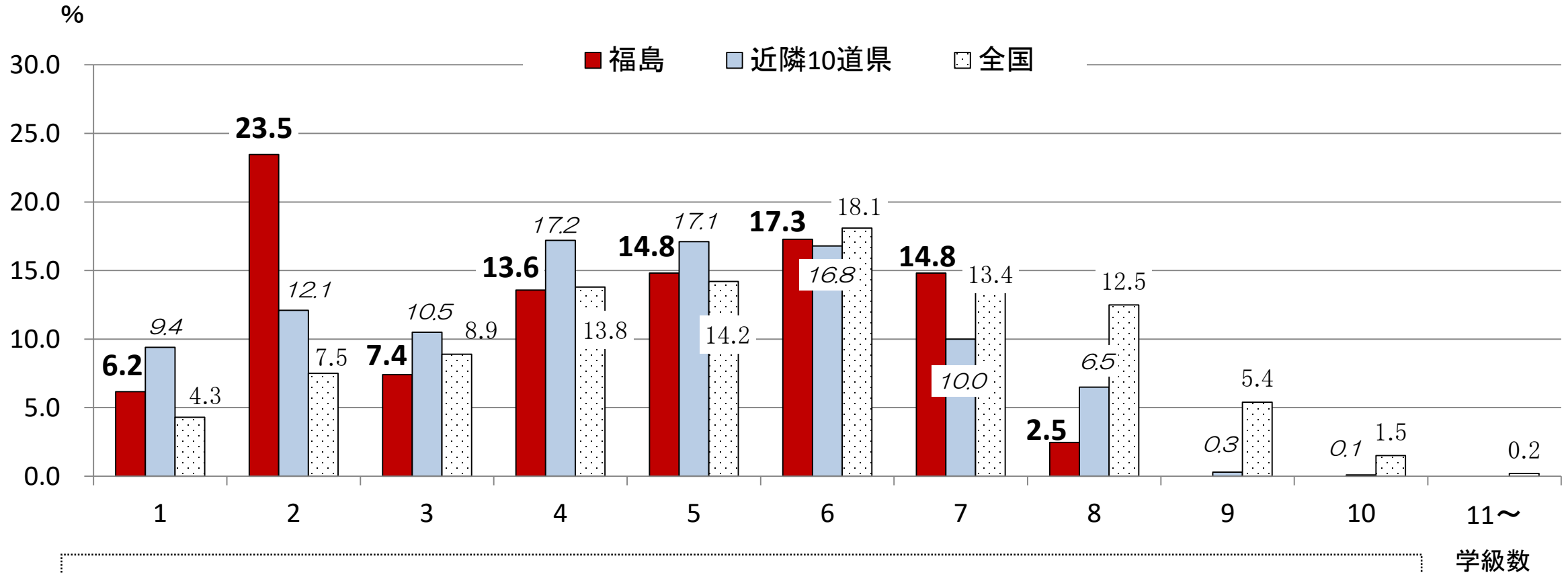


出典：2017年（平成29年）までは福島県企画調整部統計課編各年度の「学校基本統計（学校基本調査報告書）」から作成。
 2018年（平成30年）3月～2026年3月までは同調査における各学年の在籍者数をもとに作成。
 2027年3月以降は同課提供「福島県の推計人口」（2017年4月1日現在）の各年齢別のデータをもとに作成。

（年3月卒業）

県立高等学校の小規模校化

1学年当たりの学級数で見た学校規模の比較（福島県・近隣10道県・全国）



出典・「平成30年度全国公立高等学校第1学年定員等状況」(富山県教育委員会調べ)をもとに作成。
分校を含む2018年度（平成30年度）都道府県立高等学校全日課程の募集定員。近隣
10道県は、北海道、本県を除く東北5県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県。

本県の高等学校教育を取り巻く様々な動き

本県をめぐる社会情勢の変化

- 人口の減少・**少子化のさらなる進行**（中学校卒業予定者が10年間で約5,300名減少）
- 過疎化・高齡化（地域コミュニティの維持が課題）
- 高等学校教育を取り巻く状況の変化（主権者教育の重要性、大学入学共通テストの導入）
- **高等学校の小規模化**（3学級規模以下の高校の増加）
- 生徒の**学習ニーズの多様化**（学ぶ意欲や目的意識、興味、関心、進路指導の多様化）
- 東日本大震災と原子力災害からの復興・再生
（本県の復興に携わりたいという思いの芽生え、福島イノベーション・コースト構想の推進）

高等学校改革の必要性

県立高等学校改革計画「**第一次まとめ**」(平成9年)・「**第二次まとめ**」(平成11年)

福島県学校教育審議会 2017年(平成29年度) 答申
「社会の変化に対応した今後の県立高等学校の在り方について」



県立高等学校改革基本計画の策定 2018年 5月
(2019年度～2028年度) 10年間

県立高等学校改革**前期**実施計画 (2019年度～2023年度) 5年間

県立高等学校改革**後期**実施計画 (2024年度～2028年度) 5年間

県立高等学校改革の基本方針

基本理念

「本県の未来を切り拓くチャレンジ精神を持った人づくりを推進すること」

【4つの基本方針】

基本方針 1 社会の変化に的確に対応できる生き抜く力を育む
高等学校教育の推進

基本方針 2 多様な学習内容の確保及び教育の質の向上

基本方針 3 学校の再編整備・特色化による教育活動の魅力化

基本方針 4 過疎・中山間地域の学習機会の確保と教育環境の
向上

再編整備・魅力化の基本的な考え方①

- **学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模（1学年4～6学級）**
1学年3学級以下の高等学校については、学校の魅力化を図りながら都市部も含めて統合を推進

- **望ましい学校規模への再編整備の推進**
同一市町内や隣接する市町にある複数の学校のいずれかもしくは双方の学校が望ましい学校規模を維持できない場合に統合を推進
望ましい学校規模の中で可能となる魅力化の推進

再編整備・魅力化の基本的な考え方②

- 進路に応じた特色ある高等学校の配置
- 社会の変化に対応した学科の適切な配置
- きめ細かな指導が可能となる教育環境の整備
- 学校の特色化と情報発信

6つの学校群

進学指導拠点校

進学指導重点校

キャリア指導推進校

職業教育推進校

地域協働推進校

定時制・通信制高校

小規模校のメリット・デメリット

【メリット】

- 学校がある地域の生徒が、負担なく通学できる。
- 小規模校ならではの、きめ細かな指導が可能である。

【デメリット】

- 生徒どうしが、切磋琢磨しながら社会性や向上心を育むことが難しい。
- 学級数減に伴う教職員数の減少により、多様な科目選択や部活動など学校の教育活動が制限される。

再編整備（統合）による効果

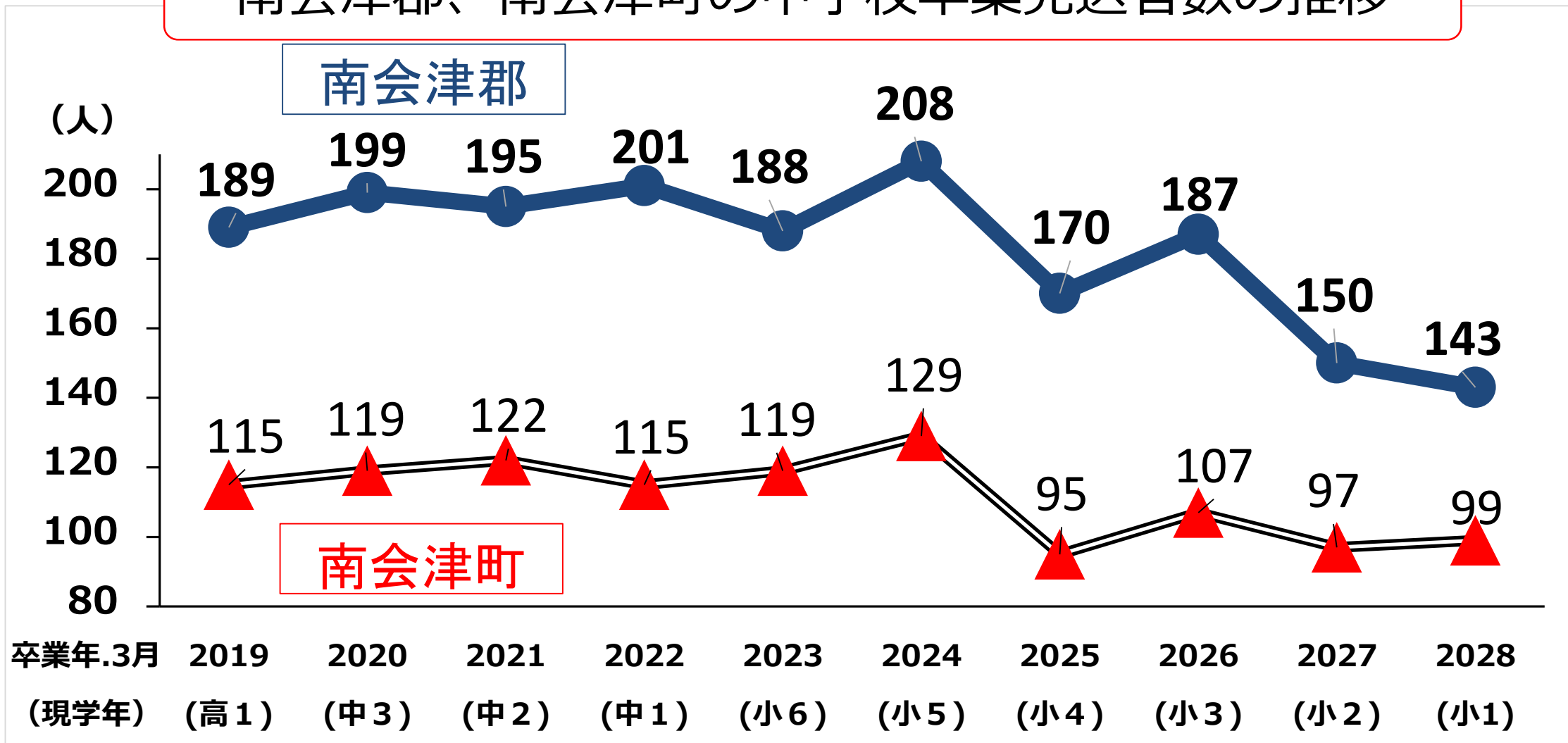
- 一定の集団規模を確保した望ましい学校規模の中で、生徒同士が切磋琢磨しながら社会性を養い、人間性を育むとともに探究的な学びや他学科との学びの連携などの新たな取組をとおしてより深い学びが実践できる。
- 望ましい学校規模とすることによって、教員数が確保され、多様な選択科目や部活動からの選択が可能となる。

2

田島高校・南会津高校の現在の状況

少子化の進行 (中学校卒業見込者数の減少)

南会津郡、南会津町の中学校卒業見込者数の推移



学校の沿革概要等

田島高校

○ 沿革（創立108周年）

- 明治44年04月 町立田島実業補習学校開校
- 昭和12年04月 福島県立田島農林学校となる
- 昭和23年04月 福島県立田島高等学校となる
- 平成23年10月 創立100周年記念式典挙行

○ 設置学科（令和元年度現在）

全日制 普通科 1 学年 2 学級 計 6 学級

○ 面積

校地**3,175,000m²**

- 校内敷地161,000m²
(建物62,000m² + 運動場12,000m² + 畑・林87,000m²)
- 校外敷地3,014,000m²
(実習畑・田40,000m² + 演習林2,974,000m²)

南会津高校

○ 沿革（創立71周年）

- 昭和23年07月 福島県立南会西部高等学校開校
- 昭和35年04月 福島県立南会津高等学校となる
(南郷校舎・只見校舎)
- 昭和39年04月 只見校舎が独立し只見高等学校となる
- 平成30年10月 創立70周年記念式典挙行

○ 設置学科（令和元年度現在）

全日制 普通科 1 学年 2 学級 計 6 学級

○ 面積

校地**31,282m²**

(建物敷地14,400m² + 運動場16,882m²)

進路状況（過去3年間）

学校要覧より

田島高校

進路先	大学	短大	専門学校	その他	就職	合計
卒業年度						
30	11	5	11	0	29	56
29	8	4	11	1	28	52
28	10	10	30	0	46	96

南会津高校

進路先	大学	短大	専門学校	その他	就職	合計
卒業年度						
30	27	2	25	1	5	59
29	17	3	14	0	11	45
28	17	4	10	0	5	36

部活動

【田島高校】

- ・ 運動部
野球 ソフトボール
男子バスケットボール 剣道
レスリング 弓道 陸上競技
卓球同好会
女子バレーボール同好会
- ・ 文化部
吹奏楽
総合文化（茶道班、美術班）

【南会津高校】

- ・ 運動部
野球 剣道 ハンドボール
バレーボール 卓球
スキー 陸上競技
- ・ 文化部
音楽 自然科学
茶道同好会 華道同好会
書道同好会
ボランティア同好会

入学状況

田島高校

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
募集定員	160			120						80					
入学者数	122	153	143	120	120	101	100	92	102	56	62	71	49	43	
充足率 (%)	76.3	95.6	89.4	100	100	84.2	83.3	76.7	85.0	46.7	77.5	88.8	61.3	53.7	

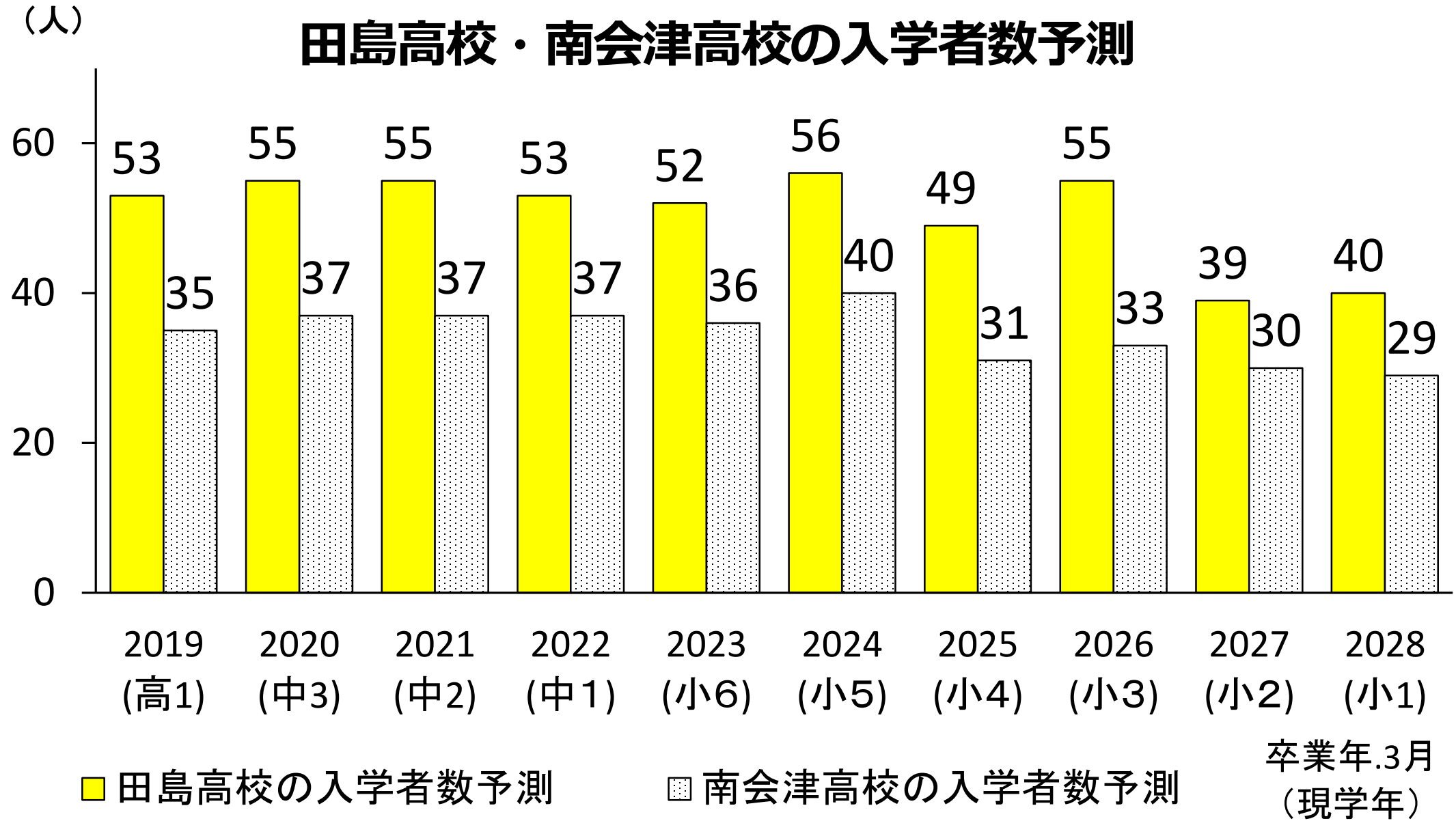
南会津高校

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
募集定員	70													
入学者数	38	52	43	55	53	46	42	52	37	45	51	50	50	35
充足率 (%)	54.3	74.3	61.4	78.6	75.7	65.7	60.0	74.3	52.9	64.3	72.9	71.4	71.4	50.0

平成30年度 南会津地域の中学校卒業者の高校進学先

	卒業者数	進学者数	田島	南会津	只見	会津	葵	会津学鳳	若松商業	会津工業	立 会津その他公	県内公立 その他	会津北嶺	会津若松 ザベリオ	仁愛	私立(県内)	県外(公私)
田島	76	76	28	11	0	3	5	3	1	5	0	0	2	7	4	7	0
荒海	15	15	3	3	1	2	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1
舘岩	16	16	1	2	2	1	2	1	0	2	0	3	0	0	0	0	2
南会津	40	39	0	30	0	0	0	2	0	1	2	1	0	1	0	1	1
下郷	43	43	16	1	0	4	5	1	1	1	0	2	1	7	3	1	0
檜枝岐	4	4	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
只見	31	31	0	1	27	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
計	225	224	48	48	30	11	14	7	2	10	2	9	5	17	7	10	4
進学者に対する割合(%)			21.4	21.4	13.4	4.9	6.3	3.1	0.9	4.5	0.9	4.0	2.2	7.6	3.1	4.5	1.8

田島高校・南会津高校の入学者数予測



3

今後の再編整備について

統合校の方向性

田島高校

○ 普通科(定員80名：2学級)
進学48% 就職52%

南会津高校

○ 普通科(定員70名：2学級)
進学90% 就職10%

2023年4月開校予定

田島・南会津統合校 (仮)

3学級規模 (定員120名) 総合学科 場所：田島高校

統合校のイメージ

田島・南会津統合校（仮）

キャリア指導推進校

地域の未来を担う人材を育成

- 生徒の幅広い学習ニーズに対応した教育活動の充実により、大学進学から就職までの進路希望を実現するために「キャリア指導推進校」に指定（県内21校）

総合学科による多様な学び

- 総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）の設置により、地域を支える核となる人材を育成

地域資源を生かした学び

- 地域資源を生かした体験的な学習と幅広い職業教育により、グローバルな視点を持った地域社会のリーダーや地域産業の核となる人材を育成

連携型中高一貫教育の充実

- 連携型中高一貫教育の充実に加え、南会津地区の小・中学校との連携により、南会津地区全体の教育力の向上を図る

特別支援学校との連携

- インクルーシブ教育システムの理念の下、南会津地区に設置する特別支援学校と連携した学びを展開する

検討する統合校の特色化

地域をフィールドとした探究的な学びの導入

総合学科の特色を生かした学び

地域の良さを国内外に発信

主体的・対話的で深い学びの実現

地域企業における就業体験

インクルーシブ教育システム※の実現

※ 共生社会へ向けた、障がいのある者ない者が共に学ぶ仕組み

今後の予定

会議等のスケジュール

第2回改革懇談会 年度内

第3回以降の改革懇談会 必要に応じて開催

今後必要となる組織

改革懇談会でいただいた御意見を具現化するための組織

- **教育内容検討委員会**（両校の教職員で構成される検討委員会）
- **ワーキンググループ**（各校の校内検討委員会）